

令和4年度授業評価アンケート（全学共通項目 抜粋）回答分析

(4) 日本大学共通項目について（項目 5,9～13）

以下は日本大学における全学的な共通設問項目となる。本設問項目では主として学生の学修時間の把握や学修傾向を測るための設問項目である。下表の上段が前期，下段が後期の回答結果である。前期と後期で設問序列の変更もあったことから，比較のため抽出して記載している。

令和4年度 前学期 学生による授業評価アンケートに係る全学共通統一調査項目集計結果回答票

学部等名 芸術学部

NO.	設問	回答方式	平均値	回答率(%)					有効回答数	有効回答数(延べ数)
				5	4	3	2	1		
1	授業時間外の学修(内容、方法等)について、担当教員から具体的(シラバスに明記を含む)に示されましたか。	択一	3.87	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				25.69	45.74	21.67	3.76	3.14		
2	この授業科目の授業を1回受けるに当たり、授業時間以外で学修(予習、復習、課題等)にどのくらい取り組みましたか。	択一	2.57	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満	取り組んでいない	19395	
				10.57	8.92	25.65	36.69	18.16		
3	この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか。	複数選択可		文献資料を閲覧・借りた	予習・復習をした	レファレンスサービスを利用した	相互利用をした	全く利用していない	19395	
				11.67	9.38	1.67	3.44	77.59		
4	この授業科目に関し、授業時間外(授業終了直後を含む)に、担当教員に対し質問等を行いましたか。	択一	2.91	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				16.31	21.20	24.25	13.53	24.71		
5	この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか。	択一	3.11	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				19.09	27.26	20.81	11.52	21.31		
6	課題(レポート、小テスト等)に対し、担当教員から学生へのフィードバック(評価や講評等の開示)はありましたか。	択一	3.95	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				33.34	37.99	21.35	4.55	2.77		
7	この授業は、総合的に評価して良い授業でしたか。	択一	4.24	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	19395	
				42.74	43.42	10.21	2.34	1.29		

※設問3については回答数に対し、複数回答がある回答も含まれるため合計値が100%を超えております。

令和4年度 後学期 学生による授業評価アンケートに係る全学共通統一調査項目集計結果回答票

学部等名 芸術学部

NO.	設問	回答方式	平均値	回答率(%)					有効回答数	有効回答数(延べ数)
				5	4	3	2	1		
1	あなたは授業時間外の学修(内容、方法等)について、担当教員から具体的(シラバスに明記を含む)に示されていたと思いますか。	択一	3.98	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				27.37	50.02	17.90	2.81	1.90		
2	あなたはこの授業科目を1週(回)受けるに当たり、授業時間以外で学修(予習、復習、課題等)にどのくらい取り組みましたか。	択一	2.69	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間未満	取り組んでいない	15724	
				13.00	9.82	26.48	35.08	15.62		
3	あなたはこの授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか。【複数選択可】	複数選択可		文献資料を閲覧・借りた	予習・復習をした	レファレンスサービスを利用した	相互利用をした	全く利用していない	15724	
				3.59	1.95	14.77	11.43	73.00		
4	あなたはこの授業に関し、授業時間外(授業終了直後を含む)に、担当教員に対し質問等を行いましたか。	択一	3.06	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				17.71	23.59	26.01	12.30	20.38		
5	あなたはこの授業の内容や学んだことを授業時間外(授業終了直後を含む)に、他者に話したり、共有したりしましたか。	択一	3.76	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				27.00	40.90	19.48	6.36	6.26		
6	あなたが提出した課題(レポート、小テスト等)に対する、担当教員からのフィードバック(評価や講評等の開示)は役に立ちましたか(今後の学修や卒業後を含む)。	択一	3.95	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				31.31	41.06	21.62	3.24	2.77		
7	あなたにとってこの授業内容は、総合的に評価して良い授業でしたか。	択一	4.22	強くそう思う	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	全くそう思わない	15724	
				41.38	44.77	9.96	2.22	1.68		

※設問3については回答数に対し、複数回答がある回答も含まれるため合計値が100%を超えております。

設問 NO.1「あなたは授業時間外の学修（内容，方法等）について，担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されていたと思いますか。」に関しては，シラバスでの学修計画の明示では，前期 71.4%，後期 77.4%の学生が<そう思う，強くそう思う>と回答しており，授業時間外の学修に係るシラバスの記載内容が概ね適切であったことが読み取れる。特に芸術学部では創作活動が学修と密接であるため，総じて事前・事後学習に充てる時間は長い。創作系科目だけでなく講義系科目に関しても，具体的な指示が記載されることで，効果的な授業時間外の学修計画の策定に資する。また，前述のとおり学生が授業履修で最も参考にした（設問 1 参照）という結果も出ていることから，授業外にどのような準備学習や事後学習を必要とするのかを履修前に学生へ明示することは重要であることが読み取れる。設問 NO.2「あなたはこの授業科目を 1 週（回）受けるに当たり，授業時間以外で学修（予習，復習，課題等）にどのくらい取り組みましたか。」に関しては，前期，後期共に「1 時間未満」が最多で，次いで「1～2 時間」が回答として多かった。一見時間数としては少ないように見受けられるが，前述のとおり芸術学部の学生は創作活動と授業の境が少ない側面もあり，一概に授業時間以外で学修（予習，復習，課題等）時間が少ないとは言い切れない実態も存在するため，シラバス上で時間外学習内容の具体的な明示が必要と捉えられる。設問 NO.3「あなたはこの授業科目を受けるに当たり，図書館をどのような目的で利用しましたか。【複数選択可】」については，「全く利用していない」が前期は 77.59%，後期が 73.0%と利用率の低さが目立つ。この結果に関しては，大学院では全く逆の結果が出ており，課題制作が主体の芸術学部であるがその中で図書館がどのように学生サービスの向上に資するかが，検討課題である。設問 NO.4「あなたはこの授業に関し，授業時間外（授業終了直後を含む）に，担当教員に対し質問等をしましたか。」に関しては，<そう思う，強くそう思う>が前期 37.51%，後期 41.3%であり，<そう思わない，全くそう思わない>の合計が前期 38.24%，後期 32.68%と，拮抗しているものの，後期に改善が見受けられる。設問 NO.5「あなたはこの授業の内容や学んだことを授業時間外（授業終了直後を含む）に，他者に話したり，共有したりしましたか。」に関しては，前期・後期共に<そう思う，強くそう思う>の回答が最多であり，前期の 46.35%から後期が 67.90%と大幅に向上している。設問 NO.6「あなたが提出した課題（レポート，小テスト等）に対する，担当教員からのフィードバック（評価や講評等の開示）は役に立ちましたか（今後の学修や卒業後を含む）。」に関しては，<そう思う，強くそう思う>が前期 71.33%，後期 72.37%と肯定的な回答が多く今後も更なる向上を目指すべき点である。設問 NO.7「あなたにとってこの授業内容は，総合的に評価して良い授業でしたか。」に関しては，<そう思う，強くそう思う>の合計が前期 86.16%，後期 86.15%と圧倒的な学生評価を得ている。この結果に関しては，学修満足度向上調査（大学本部実施）などの結果にも同様の傾向が出ており，日本大学芸術学部の教育内容，学習指導が学生の支持を得ていることを象徴する客観的な情報と言える。

(5)自由記述欄

自由記述欄には，前期 1,730 件，後期 1,119 件の記入があった。これらに関しては授業評価アンケートシステム上では，担当教員にリアルタイムでの閲覧が可能で，即時のフィードバックが可能となっている。しかし，教員側には記載内容が特定個人を誹謗中傷する内容が散見され，学生にとっては記名により個人を特定できてしまう，不利益を被る可能性があることなど，運用面の課題も散見され，現在運用の改善を検討中である。

令和3年度授業評価アンケート（全学共通項目 抜粋）回答分析

そう思う>群 88.8%，<そう思わない>群 2.4%であった。ほとんどの学生は授業にはきちんと出席していると自己認識していることが読み取れる。

また、項目 20「どのような理由でこの授業を履修しましたか（複数選択可）」については、<必修科目または選択必修科目のため>37.3%と最も多く、次いで<シラバスを見て授業内容に興味を持った>35.3%であった。

(2) 授業内容について（項目 2～7）

この領域では全項目で肯定的回答が圧倒的に多いが、なかでも肯定的回答が最も多かったものは、項目 5「この授業から、新しい知識・考え方・発想を学ぶことができました」<そう思う>群 90.3%，<そう思わない>群 2.4%である。一方、否定的回答が比較的多い項目としては、項目 6「この授業内容と関連することを、さらに学習したいと思いました」<そう思わない>群 4.8%，<そう思う>群 81.8%となっており、項目 1～13のうちでは否定的回答の割合が最も高い。

(3) 教員について（項目 8・9）

この領域においても肯定的回答が圧倒的であった。項目 8「この授業を通して、教員の熱意を感じました」については<そう思う>群 90.1%，<そう思わない>群 2.2%，項目 9「この授業の教員は、十分な準備をして臨んでいました」については<そう思う>群 91.0%，<そう思わない>群 2.0%であった。

(4) 授業環境について（項目 10～13）

この領域でも肯定的回答が圧倒的に多いが、なかでも肯定的回答が最も多かったものは、項目 11「この授業の休講の数は、少なかった」<そう思う>群 91.1%である。一方、同項目の<そう思わない>群は 2.9%となっており、項目 1～13のうちでは否定的回答の割合が最も高い。

(5) 日本大学共通項目（項目 14～19）

項目 14 では、否定的な回答が上回っている。項目 14「この授業科目に関し、授業時間外（授業終了直後を含む）に、担当教員に対し質問等をしましたか」については<そう思わない>群 39.2%，<そう思う>群 38.0%であった。一方、項目 15「この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか」は、<そう思う>群 43.6%，<そう思わない>群 36.4%と肯定的な回答が上回っている。

項目 16「課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか」については<そう思う>群 66.8%，<そう思わない>群 11.8%，項目 17「授業時間外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか」については<そう思う>群 70.8%，<そう思わない>群 7.2%となっている。

この領域では、回答が<そう思う>群と<そう思わない>群とに還元されない質問項目も含まれている。項目 18「この授業科目を1週（回）受けるに当たり、授業時間以外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか」については、「1時間以上」が 46.1%，「1時間未満」が 53.9%となっている。項目 19「この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可）」については、「全く利用していない」が 78.7%となっている。

令和2年度授業評価アンケート（全学共通項目 抜粋）回答分析

う>群 87.3%，<そう思わない>群 3.6%である。一方、否定的回答が比較的多い項目としては、項目 6「この授業内容と関連することを、さらに学習したいと思いました」<そう思わない>群 7.2%，<そう思う>群 76.5%となっており、項目 1～13のうちでは否定的回答の割合が最も高い。

(3) 教員について（項目 8・9）

この領域においても肯定的回答が圧倒的であった。項目 8「この授業を通して、教員の熱意を感じました」については<そう思う>群 85.4%，<そう思わない>群 4.0%，項目 9「この授業の教員は、充分な準備をして臨んでいました」については<そう思う>群 87.8%，<そう思わない>群 2.8%であった。

(4) 授業環境について（項目 10～13）

この領域でも肯定的回答が圧倒的に多いが、なかでも肯定的回答が最も多かったものは、項目 11「この授業の休講の数は、少なかった」<そう思う>群 93.4%，<そう思わない>群 1.9%である。一方、項目 13「この授業で使用された OHP・ビデオ・プレゼンなどは、見やすかった」に関しては<そう思わない>群 3.7%，<そう思う>群 77.9%となっており、項目 1～13のうちでは否定的回答の割合が最も高い。

(5) 日本大学共通項目（項目 14～19）

項目 14 及び項目 15 では、否定的な回答が上回っている。項目 14「この授業科目に関し、授業時間外（授業終了直後を含む）に、担当教員に対し質問等をしましたか」については<そう思わない>群 48.6%，<そう思う>群 29.5%，及び項目 15「この授業科目に関し、授業時間外に、学生間で共に学修しましたか」についても、<そう思わない>群 47.2%，<そう思う>群 33.1%となっている。

項目 16「課題（レポート、小テスト等）に対し、担当教員から学生へのフィードバック（評価や講評等の開示）はありましたか」については<そう思う>群 59.4%，<そう思わない>群 16.9%，項目 17「授業時間外の学修（内容、方法等）について、担当教員から具体的（シラバスに明記を含む）に示されましたか」については<そう思う>群 63.3%，<そう思わない>群 10.5%となっている。

この領域では、回答が<そう思う>群と<そう思わない>群とに還元されない質問項目も含まれている。項目 18「この授業科目を 1 週（回）受けるに当たり、授業時間以外で学修（予習、復習、課題等）にどのくらい取り組みましたか」については、「1 時間以上」が 47.3%，「1 時間未満」が 52.7%となっている。項目 19「この授業科目を受けるに当たり、図書館をどのような目的で利用しましたか（複数回答可）」については、「全く利用していない」が 87.4%となっている。

(6) 自由記述欄

自由記述欄には、前期 1,575 件、後期 888 件の記入があった。

3. コメント

当年度は、コロナ禍のオンラインを主体とした授業による影響から、前年度と比べ、学修時間が長くなった一方で、授業時間外の学生のコミュニケーションの時間が少なくなったことが伺える。

学修時間の増加については、項目 1「私は、この授業にきちんと出席しました」については、<そう思う>群が 95.9%となり、2019 年度の 85.1%に比べ、約 10 ポイント改善しており、対面に比べ移動時間が無いことから出席率が改善したものと考えられる。また、項目 18 の授業時間以外での学修時間については、「1 時間以上」が 2019 年度の 28.9%に比べ、約 20 ポイント増加している。

一方、授業時間外のコミュニケーションについては、項目 14 及び 15 の教員への質問及び学生間での共修は、<そう思う>群が 2019 年度に比べ約 10 ポイント減少し、いずれも 30%前後になっており、学生と教員が時間を共有するキャンパスというコミュニケーションの場が失われたことによる影響が伺える。

当年度は基本的に全ての科目がオンラインでの実施となったが、「総合的に評価して、良い授業でした」(項目 7) は、<そう思う>群が 83.5%と、2019 年度の 88.0%よりも約 5 ポイント低くなったが、総じて高い満足度を維持することができたと言える。一方、授業で使われた資料やスライド(項目 3) が適切との回答が、2019 年度に比べ約 6 ポイント低下しており、改善が必要な科目があることが分かる。また、自由記述欄には、合計 2,463 件の記入があり、記入内容の多くは教員に対する感謝のコメントであったが、一部、強く改善を求める内容もあり、これらの科目担当者については、真摯に改善に取り組む必要がある。